

令和3年3月24日

町民の皆さまへ

亶理町新型コロナウイルス感染症対策本部

本部長 亶理町長 山田 周 伸

令和3年3月18日、宮城県全域を対象として、宮城県・仙台市独自の『緊急事態宣言』が発出されました。

町民の皆さまには、ご自身と大切な方の命と健康を守るために、引き続き、基本的な感染予防対策の徹底に努めていただきますとともに、不要不急の外出や移動の自粛について、ご協力をお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症

宮城県・仙台市

緊急事態宣言

期間：3月18日から4月11日

○県全域で不要不急の外出や移動を自粛してください。

○特に混雑する時間帯や混雑する場所へは、できるだけ行かないようして下さい。

○多人数での旅行は自粛・延期し、家族・友人などとの少人数の旅行も、今は慎重に判断して下さい。

○催物の開催基準に合致する場合も、集会・イベントの開催は慎重に判断して下さい。

○職場でのクラスターが発生していることを踏まえ、休憩時間も含めた感染防止対策を徹底して下さい。

気を付けよう！感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で注意力が低下する。また、聴覚が鈍磨し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- 回し飲みや箸などの共用は感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食



- 長時間におよぶ飲食、例えば深夜のはしご酒では、昼間の通常の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケや野外のバーベキューでの事例が確認されている。



場面④ 狭い空間での共同生活



- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用施設での事例が確認されている。

場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での事例が確認されている。車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

